

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 リゾートソリューション株式会社
 コード番号 5261 URL <http://www.resol.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 平田 秀明
 (氏名) 谷 泰志

TEL 03-3344-8811

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	17,973	—	430	—	459	—	158	—
20年3月期第3四半期	20,161	8.0	1,878	150.9	1,971	137.6	886	81.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	2.82	—
20年3月期第3四半期	15.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	29,292	—	7,852	—	26.7	—	140.90	—
20年3月期	30,167	—	8,190	—	27.1	—	144.73	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,830百万円 20年3月期 8,173百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△7.6	1,450	△40.1	1,400	△46.3	700	△45.2	12.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 リソルアールアンドエスマネジメント株式会社) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 55,642,000株 20年3月期 56,642,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 70,056株 20年3月期 52,539株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 56,397,638株 20年3月期第3四半期 56,592,718株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述には、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14条)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安、株式市場の混乱に加え、実体経済は落ち込み、企業収益は大幅に悪化、個人消費は低迷するなど、景気は急速に悪化する状況となりました。

リゾート関連業界におきましては、消費者心理の冷え込みに加え、法人需要の低下等の影響により、経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、安定的な収益が確保できる運営事業の強化を図るべく、前倒しで本社の営業機能を高めるための組織改正を行うなど、厳しい状況から受ける影響を最小限にとどめ、収益の拡大とコストの削減に努めました。

運営事業におけるゴルフ運営部門では、タイムリーな企画と訪問営業による利用者の囲い込みによる入場者数増加及び収益向上に注力しました。また、全国9カ所のゴルフ場において直営レストラン統一ブランド「ダイニング&カフェ「THE GRILL」」を展開、4カ所のゴルフ場でウェディングの提案を行うなど、集客を図り、事業拡大に努めました。ホテル運営部門では、多彩な特典が受けられる「ホテルリソルカード」の会員募集を開始し、利用客の囲い込みに注力しました。さらに、昨年4月に「ホテルトリニティ札幌」（北海道）をオープンしたほか、本年1月オープンの「ホテルリソルトリニティ金沢」（石川県）を含む2ホテルの開業準備をするなど、施設拡大にも努めました。R&S運営部門では、昨年8月に「鏡が池碧山亭」（福島県）の運営を開始、旅館再生事業の拡大を図りました。また、全国8カ所にR&S（リゾート&ステイ）ホテルをオープンし、企業保養所の再生事業を拡大いたしました。これらの結果、運営事業は順調に推移いたしました。

福利厚生事業では、福利厚生代行サービス「ライフサポート倶楽部」を会員企業のニーズに一層応えるべく進化させた「ベストポイントシステム」及び健康保険組合向けの新パッケージ商品の発売により、会員及び事業の拡大を図りました。

リゾート関連事業及び開発事業においては、環境の変化に対応すべく組織改編を行いました。

リゾート関連事業では、前期に引き続きフェアウェイフロントの高級別荘の宿泊権とゴルフ場の正会員プレー権をセットにした「ゴルフヴィラ」の拡販を図りました。

開発事業では、不動産投資事業に対する金融引き締め等の影響により、ゴルフ場の売却が1件にとどまりました。

以上のように、運営事業を中心に業績の伸長に注力いたしましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,973百万円、経常利益459百万円、四半期純利益158百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて874百万円減少し、29,292百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。負債につきましては、21,440百万円となり、前連結会計年度末に比べて537百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の減少と長期預り金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月16日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規1社 リソルアールアンドエスマネジメント株式会社

当四半期連結累計期間において新たにアールアンドエスマネジメント株式会社（平成20年10月1日より現社名リソルアールアンドエスマネジメント株式会社）を設立したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が124百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,801,025	2,543,253
売掛金(純額)	1,077,992	2,127,122
商品	175,542	247,116
貯蔵品	84,362	78,256
販売用不動産	1,332,566	1,407,136
再生事業不動産等	3,381,559	3,091,779
その他(純額)	1,636,586	1,773,380
流動資産合計	10,489,634	11,268,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,064,287	5,018,001
土地	9,056,493	9,051,667
その他(純額)	332,058	383,671
有形固定資産合計	14,452,839	14,453,339
無形固定資産		
のれん	933,133	979,712
その他	245,552	244,758
無形固定資産合計	1,178,686	1,224,470
投資その他の資産	3,171,597	3,221,786
固定資産合計	18,803,123	18,899,597
資産合計	29,292,758	30,167,640

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	250,059	1,155,157
短期借入金	3,922,000	2,422,000
未払法人税等	110,438	394,926
役員賞与引当金	9,225	12,300
賞与引当金	88,546	190,736
その他	2,020,327	2,306,954
流動負債合計	6,400,596	6,482,074
固定負債		
長期借入金	62,000	62,000
長期預り金	9,517,223	9,972,164
更生担保権	3,254,527	3,254,527
一般更生債権	973,825	973,825
退職給付引当金	452,172	463,922
役員退職慰労引当金	—	168,700
従業員特別補償引当金	446,500	470,000
その他	333,583	130,378
固定負債合計	15,039,832	15,495,518
負債合計	21,440,428	21,977,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,523,487	2,745,487
利益剰余金	2,108,681	2,297,036
自己株式	△16,017	△19,004
株主資本合計	8,564,239	8,971,607
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	181	257
土地再評価差額金	△734,286	△798,550
評価・換算差額等合計	△734,104	△798,293
少数株主持分	22,194	16,734
純資産合計	7,852,329	8,190,048
負債純資産合計	29,292,758	30,167,640

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	17,973,873
売上原価	8,937,757
売上総利益	9,036,116
販売費及び一般管理費	8,605,990
営業利益	430,125
営業外収益	
受取利息	19,512
投資事業組合等利益	2,067
その他	54,911
営業外収益合計	76,491
営業外費用	
支払利息	43,110
その他	4,231
営業外費用合計	47,342
経常利益	459,274
特別利益	
固定資産売却益	151
債務消却益	16
特別利益合計	168
特別損失	
たな卸資産評価損	124,938
有形固定資産除却損	106
事業所整理損	27,804
特別損失合計	152,849
税金等調整前四半期純利益	306,593
法人税、住民税及び事業税	171,804
法人税等調整額	△29,527
法人税等合計	142,277
少数株主利益	5,460
四半期純利益	158,855

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	306,593
減価償却費	350,150
のれん償却額	46,578
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26,841
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△102,190
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,075
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△11,749
従業員特別補償引当金の増減額 (△は減少)	△23,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△168,700
受取利息及び受取配当金	△21,580
支払利息	43,110
売上債権の増減額 (△は増加)	1,049,130
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145,962
その他の資産の増減額 (△は増加)	252,175
仕入債務の増減額 (△は減少)	△905,097
未払消費税等の増減額 (△は減少)	51,912
その他の負債の増減額 (△は減少)	△676,777
小計	14,176
利息及び配当金の受取額	10,907
利息の支払額	△44,812
法人税等の支払額	△408,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	△428,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△569,547
有形固定資産の売却による収入	223,686
投資有価証券の取得による支出	△3,600
貸付金の回収による収入	3,183
その他	34,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,683
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500,000
自己株式の取得による支出	△219,012
配当金の支払額	△282,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	998,039
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	257,772
現金及び現金同等物の期首残高	1,751,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,009,421

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,968,794	404,000	1,883,692	1,717,386	17,973,873	—	17,973,873
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,968,794	404,000	1,883,692	1,717,386	17,973,873	—	17,973,873
営業利益又は営業損失(△)	1,138,222	218,065	△144,640	△117,613	1,094,033	(663,908)	430,125

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業内容等の類似性に基づいております。

事業区分	売上区分	事業の内容
運営事業	リゾート施設の運営 ホテル等宿泊施設の運営 ゴルフ場の運営 ゴルフ場・ホテル等の経営運営 コンサルティング業務 ゴルフ場・ホテル等の施設業務管理 レジャー用品の販売	リゾートホテル「プリシアリゾートヨロン」の運営 「ホテル330」「R&Sホテル」「ホテルトリニティ」等の運営、旅館・別荘・保養所等の運営 埼玉県、福島県、栃木県等のゴルフ場の運営 埼玉県及び千葉県等のゴルフ場・ホテル等の経営 外部ホテル・ゴルフ場の運営コンサルタント ゴルフ場・ホテル・旅館・別荘・保養所等の施設管理 ゴルフクラブ・ボール・ウェア・ギフト等
開発事業	デューデリジェンス業務 再生事業不動産等の販売	ホテル・ゴルフ場の鑑定評価 ゴルフ場・ホテル・別荘・保養所等
福利厚生事業	「ライフサポート倶楽部」の販売 国内旅行の販売 海外旅行の販売	カフェテリア方式の福利厚生代行サービス「ライフサポート倶楽部」の販売 与論島のリゾート施設「プリシアリゾートヨロン」への送客及びその他の国内旅行 その他の海外パック旅行の販売
リゾート関連事業	リゾート施設会員権等の販売 リゾート施設の企画及び開発 ゴルフ会員権の販売 リゾートマンション・別荘等販売及び仲介	リゾートクラブ「ドラマチックリゾートクラブ」、ゴルフ場内別荘の滞在利用権及び正会員プレー権がセットの「ゴルフヴィラ」の会員権等 リゾート施設の企画・開発・請負工事 流通ゴルフ会員権 土地及び建物の販売、仲介等

2. 営業利益のうち消去又は全社の項目に含めた663,908千円（全社）の主なもの、親会社の管理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年11月10日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を決議し、平成20年11月11日付で自己株式を1,000,000株取得し、平成20年11月20日付で自己株式を1,000,000株消却いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が222百万円減少し2,523百万円となりました。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (千円)
I 売上高	20,161,714
II 売上原価	9,507,112
売上総利益	10,654,602
III 販売費及び一般管理費	8,776,485
営業利益	1,878,116
IV 営業外収益	142,355
V 営業外費用	48,962
経常利益	1,971,509
VII 特別損失	346,141
税金等調整前四半期純利益	1,625,367
法人税、住民税及び事業税	174,734
法人税等調整額	547,149
少数株主利益	17,473
四半期純利益	886,010

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,625,367
減価償却費	336,912
のれん償却費	46,578
貸倒引当金の減少(△)額	△9,168
賞与引当金の減少(△)額	△46,746
役員賞与引当金の減少(△)額	△3,780
退職給付引当金の増加額	4,261
従業員特別補償引当金の増加額	11,750
役員退職慰労引当金の増加額	125,070
受取利息及び受取配当金	△55,610
支払利息	18,251
投資有価証券評価損	27,764
固定資産除却損	530
売上債権の減少額	984,508
たな卸資産の増加(△)額	△495,806
その他資産の減少額	565,096
仕入債務の減少(△)額	△733,511
未払消費税等の減少(△)額	△93,547
その他負債の減少(△)額	△915,662
小計	1,392,256
利息及び配当金の受取額	25,956
利息の支払額	△25,261
法人税等の支払額	△292,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,100,118
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△60,000
有形固定資産の取得による支出	△352,175
関係会社株式の取得による支出	△93,780
貸付による支出	△598,632
貸付金の回収による収入	218,131
その他	△15,321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,777

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△100,000
配当金の支払額	△282,984
その他	△3,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,205
IV 現金及び現金同等物の増加額	△187,864
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,066,065
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,878,200